

「運筆力」って何？鉛筆をうまく動かすには・・・。

大五京・大五洋では、3歳児でひらがなの「読み」を、4歳児で「書き方」を取り入れています。

その中で、子ども達の手で書いたドリルの文字を見ていると、線が細かったり、ゆらゆらと震えたような文字になっていたり・・・。

鉛筆が上手く使えていないようでした。

持ち方を見てみると、親指が人差し指に乗かって、ギュッと握ったような持ち方だったり、鉛筆の下の方を持ちすぎていたり、と様々な癖が出ていました。

しかし、中には正しい持ち方をしているのにも関わらず、線が薄くなってしまっている子もいます。慣れない鉛筆で、動かしにくくしている様子。

もっとスムーズに動かすためには、運筆力を高める事が大切です。

運筆力とは、自由自在に鉛筆を動かす力の事で、正しい持ち方と手の動かし方によって、「筆圧」を調整する事で高まります。

そこで、「運筆力アップ」のトレーニングの仕方！まずは、鉛筆の持ち方です！

力を入れすぎず、小筆を持つような感覚で柔らかく握る「ゆる持ち」が良いと言われています。それを意識して、次は動かし方。

文字を形作る「縦」「横」「曲線」の3つの動きをマスターすれば、OK！

子ども達には、「書く練習」とはいわず、大きな紙に自由に鉛筆を動かせる事が大事です。

「パーゲー」「シュッシュ」とか言いながら、リズムよくやってみると楽しいですね。

でも、あくまでも鉛筆はギュッと握らず、「ゆる持ち」ですすめる事！

この動きができるようになると「ひらがな」のとめ、はね、はらいもきれいに書けるようになります。

文字の練習も、無理なく楽しく進めていけるとよいですね。